

冬至は柚子湯で風邪知らず!?

いちの湯で「ぽかぽかゆず湯」を実施



スーパー銭湯いちの湯水戸店(茨城県水戸市)では、[2017年12月22日\(金\)](#)の冬至に合わせて、茨城県産の柚子を湯船に浮かべたお風呂「ぽかぽかゆず湯」を実施いたします。

柚子湯は、冬至の日に柚子を浮かべたお風呂に入る習慣のことで、江戸時代から庶民に親しまれてきました。いちの湯水戸店では、[12月22日\(金\)](#)

の冬至限定で実施いたします。今年は果実に加えて、時間限定で果汁を絞ったものをお風呂に投入し、より濃厚で香り豊かな柚子湯をお楽しみいただけます。

柚子湯の由来は「健康であれば融通(ゆず)が効く」「湯治(冬至)」の語呂合わせだといわれ、無病息災を願っておこなわれてきたそうです。

柚子湯には血行促進効果があり、身体を温めることで風邪を予防するだけでなく、冷え性や肩こり、腰痛も和らげてくれるそうです。また果皮に含まれるビタミンCやクエン酸といった美肌成分が肌を滑らかにするほか、柚子の爽やかな香りが心身をリラックスさせてくれます。

ぜひ、一人でも多くのお客様に当店の「ぽかぽかゆず湯」を知っていただき、古くからの日本の習慣に触れ、健康や美容に役立てていただきたいと思います。この度リリースいたしました。宜しくお取り計らいのほどお願いいたします。